

教育厚生委員会会議録

日時 令和4年12月16日(金) 開会時間 午後 3時13分
閉会時間 午後 3時53分

場所 委員会室棟 第2委員会室

委員出席者 委員長 乙黒 泰樹
副委員長 流石 恭史
委員 杉山 肇 猪股 尚彦 土橋 亨 杉原 清仁
久保田松幸 望月 勝 佐野 弘仁

説明のため出席した者

感染症対策統轄官 小島 良一 感染症対策統轄官補 井上 弘之
感染症対策企画監 植村 武彦 グリーン・ゾーン推進監 小川 敏幸

福祉保健部長 成島 春仁 福祉保健総務課長 村松 茂樹
障害福祉課長 山本 英治 健康長寿推進課長 小澤 理恵

子育て支援局長 小田切 三男 子育て政策課長 細田 尚子

教育長 手島 俊樹 教育次長 降旗 友宏 次長(総務課長事務取扱) 河野 公紀
生涯学習課長 成島 仁 保健体育課長 金井 哲也

議題 (付託案件)

第232号 令和4年度山梨県一般会計補正予算第1条第2項歳出中教育厚生委員会
関係のもの、第2条繰越明許費の補正中教育厚生委員会関係のもの及び第3
条債務負担行為の補正中教育厚生委員会関係のもの

審査の結果 付託案件については、原案のとおり可決すべきものと決定した。

審査の概要 まず、委員会の審査順序について、感染症対策センター・福祉保健部・子育て支援
局・教育委員会関係の順に行うこととし、審査を行った。

主な質疑等 感染症対策センター・福祉保健部・子育て支援局・教育委員会関係

※第232号 令和4年度山梨県一般会計補正予算第1条第2項歳出中教育厚生委員会関係のもの

令和4年12月定例会教育厚生委員会会議録
の、第2条繰越明許費の補正中教育厚生委員会関係のもの及び第3条債務負担行為の
補正中教育厚生委員会関係のもの

質疑

(生活困窮世帯緊急食料支援事業費補助金について)

土橋委員 福の2ページ、生活困窮世帯緊急食料支援事業費補助金について幾つかお伺いさせていただきます。

これから暮れを迎えて、新しい年を迎える。そんな時に、大変すばらしい事業だと思っています。ただ、これについてももう1回詳しく、どういうことをするのか教えてください。

村松福祉保健総務課長 この事業につきましては、経済情勢の悪化を受けまして、食料品の価格の高騰の影響を大きく受けます低所得世帯の中でも、食料の調達に非常に困難をきたすような、真に支援が必要な生活困窮世帯に対しまして、年内に5キロのお米と、その他レトルト食品などの食料をお届けしようという事業でございます。

土橋委員 金額的には2,300万円ということですが、事業の内容はどのようになっていますか。

村松福祉保健総務課長 2,300万円の内訳でございますけれども、送る内容や世帯構成によっても若干変動はありますけれども、概ね食糧費2,000万円強ぐらいを想定しています。その他の人件費とか消耗品、宅急便などの通信運搬費等を見込んでいるところでございます。

土橋委員 1万円のものを300件、300万円の郵送をするという考え方でいいでしょうか。

村松福祉保健総務課長 想定しているのは2,000世帯。それに対しまして、郵送費等に掛かる経費が300万円ぐらいという内訳になっているわけでございますけれども、やはり運送費とダンボール代等もろもろかかって参りますし、人件費も短期間で、いろいろ箱詰めをしたりということもございますので、そうした経費がかかってくるということでございます。

土橋委員 なぜこれを聞いたかという、例えば2,000件という話を聞くと、県内の困窮世帯、2,000件でいいのかな。極端な話をすれば、本当はもっとはるかに困窮世帯が多いのではないかなと感じたんですけれども、どのくらいあると想定していますか。

村松福祉保健総務課長 今回食料品の支援が必要な真に苦しい生活困窮世帯につきまして、なかなか具体的なデータが正直ないところでございます。そのため、実際そういった事業を実施している団体と話を詰めまして、支援といたしましては実績に基づいて2,000世帯と

いうことで算定しております。

土橋委員

その支援をしている団体と打ち合わせをしてという話ですが、フードバンク山梨ということですね。山梨県内にフードバンク山梨しかないのかというのをすごく感じています。

例えば、フードバンクとは関係なくお母さんが働いていて、クリスマスケーキも買えないひとり親家庭が甲府にもいっぱいいます。甲府で今フードバンクとはお付き合いしていない状態だということになると、ほとんどそういうところには支援が行かない。補助ももらわずに、ケーキぐらい届けようと一生懸命やっています。いろんなところで炊き出しをしてクリスマスの日に食事を出してあげようと言っている団体もあります。

そうしたところに頼っている人たちもいっぱいいるのに、フードバンク山梨だけに、丸投げじゃないかと。300万円という数字を見ても1,500円掛ける2,000件ですよ、輸送費。聞くところによると結構フードバンク山梨はボランティア活動としてタダで配達してくれている人たちもいっぱいいるという話を聞いているんだけど、炊き出しをやっているグループだとか、ケーキを一生懸命子供たちに配ってあげようやっている団体は、2,300万円どころか50万円の補助金も欲しい、そういう団体が幾つもあるはずですよ。

実際にその炊き出しをしているグループとか、ケーキを配りたい、食べさせてあげたいと配っている団体は、本当に50万円でもすごく助かる、喜ぶような団体がある。それを考えると、フードバンク山梨が駄目だとかではなくて、はい頼むよって終わってしまう事業ではなくて、もう少しいろんなところに声をかけたり、実際に2,000件と言っているけれども、2,000件ではなくてもっともっとそういうところがあるということを知ってもらいたい。

これで助かるところはいっぱいあると思うけど、ちょっと違うんだ本当に。投げ出して頼むよ、ではなくて、もっともっと有意義な有効なお金の使い方ができるのではないかな。私が思う限り、50万円分の炊き出しってすごくできる。50万円分というと、あとのぐらいの子供たちにケーキを配ってあげられるか、そういうところもいっぱいあると思う。当然ケーキだけではなくて、お菓子やいろいろなものを配るといのは、フードバンク山梨だけではなくて、もっといろんな団体があることを承知してもらいたい。

一刻も早くやってもらいたい事業だけれども、計画を考えるときに、ぜひほかのボランティア団体もしっかり頭の中に入れてやってもらいたい。反対意見ではなくて、ぜひ計画を練る段階で、こころ一つじゃなくて、いろいろなところで、うちはこういうことしています。今回こうやりたいからという、その意見を受けたり聴取することもすごく大事なことだと思うから、ぜひ有意義なお金の使い方をしてもらいたいと思う。

もっとしっかり、この中にはこれだけのものが入っていて、仕入値段で幾らですよ、そういうことをしっかり、例えば2,000件だと1,500円。だけど、1,500円もしないで受けてくれる運送業者もあるだろう。そういうこともしっかりやるともっと生きたお金をたくさんの方に、使えるのではないかなと思うから、ぜひ今後は、そういうところも気をつけてやってもらいたいと思います。

村松福祉保健総務課長 委員のお話を承って、多くの方々のご意見を伺う中で生活困窮世帯を支援して参りたいと考えております。

(小中学校スクールバス安全装置装備支援事業費補助金)

杉山委員 各課で、送迎バスとかスクールバスの安全装置の補助金がありますけれども、多分同じ置き去り防止のことだと思うので、具体的にはどういった装置なのかをどこか一つ代表してご説明いただければと思います。

細田子育て政策課長 この事業は本年9月に静岡県認定こども園でバス内に置き去りにされた子供が亡くなるという事件を受けまして、国が創設をした事業です。

装置の仕様につきましては、国土交通省が内容を検討しているところです。年内にはそれが示されると伺っておりますが、例えばバス内に子供がすぐに押せるブザーのようなものをつけて、それを押すと回転灯が回って、周りの人に気が付いてもらえる、そんなものもあると伺っております。

杉山委員 内容はこれからということですね。

それで教育委員会にちょっと聞きますが、小中学校のスクールバスが対象になっていきますけれども、地域によっては、既存のバス会社に送迎を委託しているところもあると思いますが、そういった場合は委託したバス会社にもそうした装置をつけていただくということになるのでしょうか。

金井保健体育課長 学校によっては、委託しているところがございますが、そうしたバスも対象になると聞いております。

流石委員 不思議に思うのは、安全装置、運転手がちゃんと見れば良いかと思えますけど。いちいち子供がボタンを押すなんて、私はおかしいと思う。

安全装置なんて運転士さんが責任を持って、後ろの席からずっと見ればいい話なのに、それを怠ったとしか私は判断ができない。だからこういうお金の使い方って、本当にまともなのかどうなのかと思えますが、どう思えますか。

細田子育て政策課長 委員おっしゃる通り、基本的には職員目で見れば確かめて、子供が残っていないかを確認すれば済むことであります。

ただ、これまで何件かいろいろな理由で確認を怠った結果、子供が置き去りにされてしまったという事件が起きておりますので、基本的には職員目で見れば確かめることが大事ですが、何らかの事情で、それができなかった時に補完するための装置をつけて、万全を期すといったものだと考えております。

流石委員 反対しているわけではないですよ。

ただもっと他の違うところに、お金の使い方があるのかなと単純に思っただけで。

令和4年12月定例会教育厚生委員会会議録
も、これは園の職員への教育だと思います。それに対する指導というのは、やはり県が
しなければいけないのかなと思っております。

(庁舎管理費)

望月委員 教の1ページ、先ほどの説明の中で、県立高校38校に電気料金の補助ということで
すけど、この電気料金、教室とか学校の中の施設はわかりますけれども、クラブ活動、
グラウンド等に照明がありますよね。そうしたのも全部含めて電気料金の補助をして
くれるんですか。

河野次長・総務課長 学校の照明等も含んだ電気料金でございます。

望月委員 高校の場合には夜遅くまでクラブ活動などもやっていますけれども、相当高額な電気
料になると思います。そこはやはり各学校から電気料金の、そうしたものを県の方へ提
出するとかそういう把握ができるような状況を作っているんですか。

河野次長・総務課長 本年度の電気料金の高騰を受けまして学校からは随時こういった電気料金に関し
ての危機感は承知しているところでございます。このたびの補正予算につきまして、そ
ういった学習環境とか、或いは部活動の活動に支障がないように対応できるものと考え
ております。

望月委員 国の方でも来年2月ですか、家庭の電気料金とか、何割か補助していきたいという話
が出ています。公立高校も私立高校もそうですけれども、そういった教育関係の電気料
金は国の補助対象になっていますか。

河野次長・総務課長 議員ご指摘の通り対象となるものでございます。

討論 なし

採決 全員一致で原案のとおり承認すべきものと決定した。

その他 ・本委員会が審査した事件に関する委員会報告書の作成並びに委員長報告については委
員長に委任された。

以 上

教育厚生委員長 乙黒 泰樹